

# 地域住民と連携した山間地を活用した農空間保全

## 四条地区農空間保全協議会（大東市）

- 四条地区は、大阪府の東に位置する大東市の中の四条地区は古来 河内国讃良郡であり渡来人の多く住む地域です。東に生駒山系、西に大和川・恩智川が流入する「ふかの池」をかかえその狭い土地で農耕をしてきました。
- その為農業・土木など他の地域より進んでいました。その財産が山中にある奥の池・中の池・口の池です。その成立年代は古く狭山池と同じくらいと考えています。
- その財産を保全する為に奥の池土地改良区ができましたが、高齢化により保全が大変になってきました。令和5年に四条地区農空間保全協議会を寺川自治会・野崎第一自治会・寺川水利組合・野崎第一水利組合・奥の池土地改良区の協力のもと設立し地区の保全を継続して出来る様に活動中です。

【地区概要】	
取組面積	2.61ha [田2.61ha 畑1ha]
農業用施設	開水路 9.7km 農道 3.4km      ため池 5箇所
主な構成員	奥の池土地改良区・寺川自治会・野崎第一自治会・寺川水利組合・野崎第一水利組合
交付金	141冊（R7）

### 活動開始前の状況や課題

- 稲作の水源が生駒山中にある為にがけや急坂の法面が多く、周辺を流れる農業用水路も手入れがしにくい場所である事から管理しにくく農作業に影響を与えていた。
- 農業者の高齢化に伴い、ため池や水路の手入れが可能な範囲が減少し農業者数の減少により農業者だけで全ての作業を行う事が難しくなっていた。
- 山中の水路が荒れてきて倒木などの片付けが出来ない。線状降水帯にはまったらどうなるかは容易に想像がつく状況であった。



### 取組内容

- 寺川・野崎第一の各自治会にも協力して貰い農業者以外にも参加をして貰いため池や水路の草刈り作業等をしている。僅かな交付金は作業員全員の通年の保険と持ち込みの作業機械の燃料代そして作業員の熱中症対策の飲料等で使い切っています。
- 水路の軽微な補修や泥上げ、年1度の住宅地での地域全体での水路の掃除。
- 地区の麓の部分で蛍の生息地があるので餌のカワナが生息できるように生息環境の保全を行っている。蛍は近年の異常気象で年々個体数が減少中です。
- ため池の堤の桜が老木となり折れたりしているのて新たに桜の植樹をしている。



### 取組の効果

- 農業者以外の地域住民に山中の池の場所やその歴史がわかって貰えた。
- 以前の様にため池や水路の草刈り軽微な水路の保全が出来る様になった。
- これからは地域の小学校や中学校、校区内の中垣内自治会、竜間自治会とも連携して四条地区山中の地域保全管理ができればと思いを模索中です。

